

指定管理施設評価 年間評価シート

令和6年度評価 (令和7年度実施)

1. 施設概要

Table with 4 columns: 施設名, 所在地, 指定管理者, 指定管理者所在地, 施設分類, 事業実施型, 指定期間, 主な業務内容, 利用料金制, 施設所管課, 電話.

2. 指標

Table with 5 columns: 施設の設置目的, 管理運営における基本理念, 評価指標 (下記の評価指標を【増加】又は【減少】させる管理運営を実施), R6年度, R5年度, R4年度.

3. 管理運営状況

Table with 6 columns: 項目, 詳細, 現指定管理者 R6年度, 現指定管理者 R5年度, 現指定管理者 R4年度.

Table with 4 columns: 利用者満足度調査結果, 実施時期, 回答数, 主な調査内容及び満足度 (普通以上の割合).

指定管理施設評価 年間評価シート		令和6年度評価 (令和7年度実施)	
施設名	三田市放課後児童クラブ(ゆりのき台小学校区)	施設分類	事業実施型
指定管理者	学校法人 親和学園	施設所管課	子ども・未来部子ども育成課

4. 各項目における評価内容

評価の観点	評価項目	項目区分	指定管理者セルフ評価	市評価
Ⅰ.基本的なサービスの提供	(1)施設運営に係る協定事項の遵守	適正管理	3 適正	3 適正
	(2)利用者の安全確保	サービス効果	3 標準	3 標準
	(3)利用承認、案内等の対応と接遇	サービス効果	3 標準	3 標準
	(4)市、関係団体、地域等との連絡調整	サービス効果	3 標準	3 標準
	(5)施設の目的に沿ったサービスの提供	サービス効果	3 標準	3 標準
	(6)目標の達成度	サービス効果	3 標準	4 やや優れている
Ⅱ.施設の管理	(1)建物保守管理・設備機器類の安全管理	適正管理	3 適正	3 適正
	(2)収納・文書・備品の適正管理	適正管理	3 適正	3 適正
	(3)清掃・衛生管理・警備	適正管理	3 適正	3 適正
	(4)指定管理者が行う修繕	サービス効果	3 標準	3 標準
	(5)コスト削減、環境配慮の取り組み	サービス効果	3 標準	4 やや優れている
Ⅲ.事業の実施 【事業実施型のみ】 ※2倍得点	(1)効果的な情報提供	サービス効果	3 標準	4 やや優れている
	(2)委託事業(ソフト事業)の実実施計画	サービス効果	3 標準	3 標準
	(3)委託事業(ソフト事業)の目標達成	サービス効果	3 標準	3 標準
	(4)自主事業への取り組み	サービス効果	3 標準	4 やや優れている
	(5)共生社会の推進に向けた取り組み	サービス効果	3 標準	3 標準
Ⅳ.満足度向上への取り組み	(1)苦情等への対応	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
	(2)利用者獲得及び収入増加に向けた取り組み	サービス効果	3 標準	3 標準
	(3)利用者ニーズに応じた改善	サービス効果	3 標準	3 標準
	(4)利用者の満足度	サービス効果	4 やや優れている	5 優れている
(得点率=評価項目の評点の合計÷満点×100)			得点率	72%
			総合評価	A

適正管理【3段階】	サービス効果【5段階】
	5 優れている
	4 やや優れている
3 適正	3 標準
2 課題有	2 やや劣っている
1 要改善	1 劣っている

該当しない評価項目は斜線表示とする



得点率	総合評価
概ね80%以上 ※	S 優良
概ね70%以上 ※	A 良好
概ね60%以上 ※	B 標準
概ね50%以上	C 要努力
概ね50%未満	D 要改善

※評価項目に1つでも1の評価がある場合は、C以下とする

5. 総評

<p>指定管理者による所見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人員不足を解消するため、学生アルバイトや系列幼稚園からの職員応援などが実施できた。 ・150人の児童が安全に過ごせる環境・職員体制を維持することができた。今後は、より一層神戸親和大学として特色ある保育ができるよう、取り組んでいきたい。
<p>市による所見</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模クラブ(4クラブ150名)の運営を安定して行った。 ・利用者アンケート結果によると児童クラブの運営全般について94%の保護者が満足していると回答している。 ・特色ある保育(系列幼稚園の遊戯室を借りたコンサートの実施、系列大学を含めた大学生アルバイトによる保育など)を実施した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生アルバイトの活用や系列幼稚園からの職員応援といった工夫により人材確保に努めるなど、引き続き人員不足の解消に取り組む必要がある。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員超過が継続する状況下において、安全管理と適正な職員配置を行い、児童が安心して過ごせるよう安定的な運営の確保を目指す。 ・一部の児童を近隣の直営施設へ送迎することに伴い、個人情報に適切に管理したうえで、指定管理者と直営施設間の情報共有を緊密に行うことにより、児童及び保護者の円滑な施設利用を図る。 ・職員の資質と保育の質の向上に向け、指定管理者の専門性を活かした研修や、直営施設との情報共有を促進する。併せて、学生との交流を支援するなど、児童の体験活動の充実を図る。